

福岡県が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、福岡県（以下「本法人」）が発行する令和 5 年度第 1 回公募公債（グリーンボンド）（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023 年 5 月 30 日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本債券の発行により調達する資金は、福岡武道館移転整備（ZEB化）、糸島総合庁舎や久留米高等学校などの県有施設への太陽光パネルの設備導入、飯塚総合庁舎、博多警察署などの県有施設へのLED照明等の省エネ性能の高い設備導入、緑化推進事業（県立高校、夜須高原記念の森などの植栽）、林道整備、豊前海、筑前海での漁場整備、藻場の造成、水害対策（河川の河道掘削など）、高潮高波対策（海岸堤防嵩上げなど）、土砂災害対策（砂防施設、地すべり防止施設の整備など）等に充当される予定です。

また、本法人は本債券の発行にあたって、「福岡県サステナブルファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）による「グリーンボンド原則 2021」、「ソーシャルボンド原則 2021」、「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン（2022年版）」、金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン（2021年版）」への適合性について、評価を受けております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上